

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料3

令和8年1月 日

協議会名:長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(有)ながすタクシー	長洲町予約型タクシー(きんぎよタクシー)の運行 (長洲町内全域及び荒尾市・玉名市の特定施設)	長洲・荒尾地域内フィーダー系統確保維持計画どおり長洲町予約型乗合タクシー(きんぎよタクシー)を運行した。また、運転免許証返納者(65歳以上)への1年間無料乗車券配布などを継続して実施し、日常生活に必要不可欠な移動手段の確保を図った。利用者からの要望を受けて土曜日における実証運行を行い、利用者増加に向けて取り組んだ。	A 事業について、計画通り適切に実施できた。	A 利用者数の目標を20,500人/年としていたが、実績は、目標を大幅に超える21,502人/年となった。 財政負担の実績は20,662千円となり、計画内の23,000千円以内での運行も達成できた。	R6年3月に策定した「長洲町地域公共交通計画」に基づき、きんぎよタクシーの利便性を更に高め、利用者数の増加を図る。また、土曜日における乗合タクシーの実証運行の結果を受けて、本格運行に向けて取り組み、利用者の更なる増加を図る。

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和8年1月 日

協議会名:	長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	長洲町は、熊本県北西部に位置し、面積は19.44km <sup>2</sup> 、人口は15,086人(令和7年12月末現在)の町である。快適な暮らしができる安心のあるまちづくりのためには、誰もが公共交通を利用して気軽に移動できる地域公共交通が必要不可欠である。その一環として、公共交通サービスを真に必要とする高齢者等の移動手段の確保を主たる目的とし、「病院や買い物等の日常生活に必要不可欠な移動手段を確保する」ことを目標に掲げ、地域間幹線系統を接続するフィーダー系統(デマンド型)を組み合わせることで、生活交通ネットワークの充実を進めているところである。

